

令和7年度 えりも高校 第1回授業評価アンケート結果分析

アンケート実施期間：6月23日～7月4日

質問項目（各教科・科目共通）

先生に関する項目	①	授業の目標・課題設定がわかりやすい。
	②	板書やプリント・PCの文字、先生の説明・指示や声量・話す速度などがわかりやすく、整理されている。
	③	授業の内容や難易度は自分に合っている。
	④	ペアワークやグループワークなど対話的活動により、自分で考えたり発表したりできるような授業である。
	⑤	どのように評価されるか説明している。
	⑥	内容や疑問点について振り返る時間があり、伝えやすい。
生徒自身に関する項目	⑦	話を聞く姿勢を取るなど、ふさわしい態度で学習している。
	⑧	授業に積極的・主体的に参加している。
	⑨	分かりやすく発表したりまとめたりすることができている。
	⑩	この授業を通して、その科目に関する考え方が深まった。
	⑪	この授業を通して、知識や技能の向上を実感している。
授業についての記述欄		授業に関して特に学びを得たと思うことを記入してください。
		授業に要望があれば記入してください。

○生徒の評価

4～1の段階で評価する。

4	そう思う。
3	どちらかというと思う。
2	どちらかというと思わない。
1	思わない。

○評価の段階

生徒の評価の平均を以下の評価とする。

3.5～	A評価
3.0～3.5	B評価
2.5～3.0	C評価
～2.5	D評価

教科（国語科）

① 評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）

①「授業の目標が分かりやすい」②「板書やプリント・PCの文字、先生の説明・指示や声量・話す速度などがわかりやすく、整理されている。」に関しては良好である。授業の中で、何を学んでいるのかは生徒にはほぼ確実に伝わっていると言える。

② 評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）

④「ペアワークやグループワークなど対話的活動により、自分で考えたり発表したりできるような授業である。」⑨「分かりやすく発表したりまとめたりすることができる」に関しては、科目の特性を考慮し効果的な指導を模索していく。

③ その他に気付いた点や、今後行う予定の活動

「話すこと・聞くこと」の活動を意識して取り入れていく。

教科（地歴公民科）	
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）	「板書やプリント・PCの文字、先生の説明・指示や声量・話す速度などがわかりやすく、整理されている。」の項目では、板書など学習内容の整理の工夫を教科内で行った。 「授業に主体的に参加している」については授業の課題設定の吟味が求められる。教師の教材観を深め、科目の目標を達成できるように研鑽したい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）	グループワークなどの機会の設定が課題である。目標に正対した適切な学習活動の設定について考えていきたい。 低学年ほど、授業の難易度が自身にあっていないという結果が出ている。高校の学習内容と自身の生活を結びつけるなどの工夫が求められる。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動	基礎基本の徹底を図り、生徒が「できる」「わかった」といった実感を与え、さらに学習への前向きな取組を促したい。

教科（数学科）	
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）	どの学年についても「どのように評価されているか説明している。」の項目と「授業に積極的・主体的に参加している。」の項目が特に高かった。家庭学習が成績に加味され、確認テストの点数にも直結するため、家庭学習の推進とモチベーションの向上につながっていると考えられる。今後も継続していきたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）	「分かりやすく発表したりまとめたりすることができている。」の項目の評価が低かった。しかし数学科として、互いに学び合う機会を積極的に設けることを優先して指導を行っているため、「授業に積極的・主体的に参加している。」の項目は高くなっていると考えている。 また数学科では習熟度別展開をしているが、特に2学年において「授業の内容や難易度は自分に合っている。」の項目は低い傾向にある。各科目の難易度が上がったことに加えて、モチベーションと知識の定着度合いの間に乖離があることが予想される。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動	

教科（理科）	
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）	どの学年においても全体として高い評価となっている。特に、「授業の目標がわかりやすい」の項目が高かった。授業のはじめに目標を提示し、その授業における最終的な姿を明確にできていると考えられる。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）	「分かりやすく発表したりまとめたりすることができている。」の項目の評価が低かった。実験の考察や自分の考えをまとめ、全体に発表する活動などを行っていきたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動	実験を取り入れた探究的な学習を取り入れていきたいと考えている。

教科（保健体育科）	
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）	<p>全学年C評価がなく、全体的にA評価が多い結果となった。体育では、「体育が好きじゃなかったけど高校に入って好きになった」や「体を動かす楽しさを感じられた」などプラスな言葉が多かった。生徒の実態に応じたアプローチや毎時間可能な限り、ホワイトボードや学習カードを活用して目標や成績について説明・提示していることが高い評価に繋がっていると考えられる。今後もどうすれば楽しく学ぶことができるのか考えながら授業計画を立てていく。</p>
② 評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）	<p>C評価の項目はなかったが、2・3年生で④対話的活動、⑨発表、⑩知識や技能の向上が他に比べて低く出た。2年生では、基本的な授業の流れや基礎的内容の学習をメインとしているので、教員主導となっていることが要因として考えられる。3年生では、授業規律の乱れがやや見られるため、適宜指導を必要としている。技能の向上を目指して生徒同士で交流する機会を増やしていく。</p> <p>今後は、授業規律の徹底を継続しながらも生徒主体の学習活動を増やしていきたい。</p>
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動	<p>年々気温が上昇傾向にあるため、ハーフパンツの利用について考えていく必要がある。今年度は各自必要に応じて今までは任意であったが、来年度からは全員購入する流れでいきたい。</p>

教科（英語科）	
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）	<p>全学年C評価がなく、B評価以上がついている。1～2学年については評価のされ方や授業の速度、知識・技能の向上のところでAがついていたため、今の教材や指導、評価方法を続けていく。</p>
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）	<p>3学年だけA評価がないので、後期はそれぞれの項目を1つでも多くA評価になるようにことさらに意識して取り組んでいく必要がある。</p> <p>学んだ内容について振り返る時間を設ける。また、発表の活動を増やしていく。</p>
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動	<p>教員1人による合同授業が多かった。習熟度による三展開授業をしていく。</p>

教科（家庭科）	
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）	<p>・全体的に2、3年生の評価が高かった。特に「授業に積極的・主体的に参加している」という項目が高かったため、生徒のやる気を引き出しながら授業を進めていきたい。</p>
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）	<p>・「分かりやすく発表したり、まとめたりすることができている」という項目について、1年家庭総合ではB評価がついており、意見をまとめたり発表する機会が少なかったことが要因に思えるのため、今後はグループワークやICTを活用して機会を増やしていきたい。</p> <p>・「内容や疑問点について振り返る時間があり、伝えやすい」という項目について、フードデザインではB評価がついていたため、実施している振り返りシートの項目を充実させながら改善していきたい。</p>
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動	<p>・2年家庭総合や生活と福祉では、実習に対し意欲的なコメントが寄せられていたため、計画的に実施できるようにしたい。</p>

教科（情報・商業科）

①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・全学年とも全体的に評価が高かった。・実技実習だけでなく、生徒自身が商業的な見方考え方できるように理解を促していきたい。 |
|---|

②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・グループワークに関する項目が低い傾向にあるため、対話活動をふやしていきたい。 |
|---|

③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・働くうえで、必要になるという動機付けができるので、積極的なせいとつが多い。・個々の活動の発表やグループ活動をさらに取り入れ言語活動の充実を行いたい。 |
|--|